

令和2年度理工学研究科ガイダンス日程（第1報※）

※近日中に第2報で詳細をお知らせします

専攻名	Webによる セルフラーニング	+	日付	学年	時間	場所	備考	
博士後期課程全専攻			各研究室ごとにガイダンス					
量子線科学専攻			4月3日	1 年次	15：00～	(水戸) 理学部K棟インタビュースタジオ		
						(日立)		
						工学部E1棟10番教室		
						工学部E1棟41番教室		
						工学部E1棟3C番教室		
						(東海) フロンティア応用原子科学研究センターC204室		
理学専攻			4月3日	1 年次	14：00～	(水戸) 理学部第8講義室		
機械システム工学専攻			各研究室ごとにガイダンス					
電気電子システム工学専攻			各研究室ごとにガイダンス					
情報工学専攻			4月7日	1 年次	13：00～	(日立) 工学部S1棟102室		
				2 年次	14：00～	(日立) 工学部S1棟102室		
都市システム工学専攻			4月7日	1 年次	13：00～	(日立) 工学部E1棟21番教室		
				2 年次		(日立) 工学部E1棟22番教室		

大切なお知らせ

- ・入学式：中止
- ・授業開始：4月30日開始
- ・（博士前期課程）履修制限科目の申請期限延長（4月30日まで）※次ページ参照
- ・（量子線科学専攻）放射線業務従事者のための教育訓練等に係る情報を第2報以降にお知らせします。

新型コロナウイルス感染拡大に対する茨城大学の対応については、
茨城大学ホームページ（<https://www.ibaraki.ac.jp/>）でお知らせしています。

【重要】履修制限科目について

大学院共通科目（カテゴリ：英語）「国際コミュニケーション基礎 A」（定員：60 名）

「実践国際コミュニケーション A」（定員：36 名）

研究科共通科目（カテゴリ：倫理）「研究者倫理」

日立で実施する上記 3 つの科目については、円滑に授業を実施するため履修制限を行います。

学生自身で DreamCampus から履修登録することはできません。

※「カテゴリ：倫理」科目は「研究者倫理」「原子力連携ネット共通講座Ⅰ・Ⅱ」を除くと夏季集中講義のみなので注意してください。

※2Q の「国際コミュニケーション基礎 B」「実践国際コミュニケーション B」の履修登録については上記 2 科目の履修状況を見て後日お知らせします。

上記の科目の履修を希望する者は必ず下記 QR コードから申請してください。

（ログイン画面が表示された場合は、学籍番号のメールアドレスと学内ネットワーク認証のパスワードを入力してください。）

申請期間：4 月 30 日（木）まで（延長しました）

履修者として抽選された者は 4 月 31 日（金）の 18 時までに、DreamCampus の履修登録画面に当該科目が表示されます。

<注意> 修士学生の ID で登録しなければなりませんので、履修希望者はガイダンスで ID とパスワードを受領したら速やかに行ってください（なお、パスワードの変更も同時にやると効率がいいかもしれません）。

国際コミュニケーション基礎 A
実践国際コミュニケーション A



研究者倫理



「国際コミュニケーション基礎 A/B」「実践国際コミュニケーション A/B」について

上記科目の【内容】及び【対象とする学生】を以下にまとめます。履修する際の参考にしてください。
なお、科目名はこれ以降、省略して次のように表記します。

「国際コミュニケーション基礎 A」→「基礎 A」 「国際コミュニケーション基礎 B」→「基礎 B」
「実践国際コミュニケーション A」→「実践 A」 「実践国際コミュニケーション B」→「実践 B」

1. 「基礎 A」（開講：第 1Q）・「基礎 B」（開講：第 2Q）の【内容】

科学技術系のトピックに特化した教材を活用し、既習の文法や語彙を振り返りながら、主に聴く力・読む力の伸長を目指します。

2. 「実践 A」（開講：第 1Q）・「実践 B」（開講：第 2Q）の【内容】

プレゼンテーションに特化した教材を活用し、次のことができるようになることを目指します。

- ①プレゼンテーションの内容を聴き取る。
- ②プレゼンテーションのスクリプトを読み、使用されている語彙や表現を別の場面で応用する。
- ③さまざまなプレゼンテーション方法に触れ、そのよいところを採り入れ、自らの発表に活かす。

3. それぞれの科目が【対象とする学生】

「基礎 A」・「基礎 B」は、英語に苦手意識を持っている学生を対象とします。「苦手」の目安は、TOEIC450 点前後、英検準 2 級前後です。これ以上のスコアや級を持っている方は、「実践 A」もしくは「実践 B」、または後期に開講される科目を履修してください。

「実践 A」・「実践 B」の目安は、TOEIC550 点以上、英検 2 級以上です。しかし、この基準を満たしていなくても、「基礎」より「実践」を受講したい場合は、この限りではありません。どうぞ積極的に「実践」の方を履修してください。とは言え、過去には、前期のうちに履修を済ませたいという思いから、英語に苦手意識を持っているにもかかわらず、「実践 A」または「実践 B」を受講し、苦慮した方がいます。後期でも英語の科目は開講されますので、自身に合った授業の受講をお奨めします。

また、「基礎」・「実践」のいずれの目安にもあてはまらない方（例：TOEIC480 点、520 点など）や TOEIC・英検を受検したことのない方もいるかと思います。その場合は、シラバスにある詳細な内容や評価方法を見て、自身で判断していただいて、構いません。

《注意事項》

「基礎」の定員は 60 名、「実践」の定員は 36 名です。特に第 1Q の科目は、受講希望者が多数いますので、抽選に漏れた場合の履修計画も立てておくことをお奨めします。

授業で皆さんとお会いするのを楽しみにしています。充実した大学院生活となりますように。

文責：田嶋 美砂子（「基礎 A/B」「実践 A/B」担当）